



## 第34回日本サーバスの国内会議が開催されました。

今年の国内会議は、1日目2012年は3月17日(土)午前9時30分より、日本サーバス創立50周年記念ミニ国際会議が併催されました。午後は国内会議が開かれました。

夜は記念懇親会も食事を挟んで行われました。

2日目、3月18日(日)午前9時より午前中、両日共に京都農協会館で開かれました。

1日目のミニ会議には台湾から5名、韓国から3名の参加があり、サーバスの国際的な状況や各国の状況につき意見交換も行われ、京都を中心とした観光を楽しんで頂きました。

2日目の午後は国内会議に参加された国内の方と台湾の方たちが一緒ににぎやかな観光が出来ました。



## 元気をもらって、さてどうする？

サーバス会長 K. T.

今年度の国内会議は、日本サーバス創立50周年記念大会を兼ねて、去る3月17日と18日に京都で開催され、韓国と台湾からの参加者もあり、近年のいつの国内会議にもまして多数の皆様の出席と発言を得て盛り上がりました。懇親会では日本の太鼓に台湾会員の日本語カラオケ、韓国会員のパンソリと、豊富な演目を楽しむこともできました。長い準備期間中ご苦労いただいた近畿支部の皆さん、とりわけ支部長のHさんには心から感謝申し上げます。



—懇親会場で京都市長の英文メッセージを

代読する会長—

その一方、年に一度の宴が終わって心にふと空白を感じる時、振り返って今年の国内会議では何が決まって何が決まらなかったのかと考え始めると、はなはだ心もとなく落ち着かない気分になります。年度決算と予算を承認していただいた他に、50周年記念誌発行に形をつけることができました。しかしながらその他の重要議題と考えていた被災者救援プロジェクトについてはTさんの活躍のようすを伺って被災地の現実の一端を認識したものの、それに対するアクションまでは話し合いが始らずに終わりました。サーバス活動全体の活性化については、若い世代への働きかけが重要として日本サーバスにも「ユース部会」を設けることは決まりましたが、名前がでただけで中味はカラッポです。財政状況の厳しいことを訴えて改善策を揉む予定が、今年度会

計書類の説明も質疑もなされずに承認だけ取り付けた格好です。

3.11 以来、「元気をもらおう」という表現をよく耳にします。私も国内会議では楽しい思い出とともに元気をもらいました。サーバスの活動を続けてよかった、サーバス会員でいてよかった、との思いはひとしおです。大切なことは、それで終わらずに、もらった元気を他の会員に、来訪トラベラーに、サーバス全体に、ひいては社会に少しでもお返しして、日本を、世界を、この社会を、少しでも住みよい場所に変えていく努力につなげていくことでしょう。ガンバリます(伏し目がちに。声も小さくなる。)!!!



## 会議の主な内容と写真

### 1. 「日本サーバス50周年記念誌の発行について」

発行は CD と製本の発行形態で発行経費案については青木編集委員長に一任する。

### 2. 「日本サーバス2011年活動の報告」

国際サーバス本部は実態としてスイスでは法人格がなかったため今年度、ポーランドで行われる国際会議に臨み、正式な法人申請を訴える動きある。今後は事務所や世界組織としての対応に答えるための組織は必要になると思う。

### 3. 「2011年度本部決算および本部特別会計報告」

承認されました。— 資料の詳細は会員専用ページ参照 —

### 4. 「2011年各支部の活動報告」

会員の獲得のために大学への宣伝や会員交流にも工夫をしている支部会の事例が報告されました。また、グループメールの立ち上げや支部ニュースにも力を入れている支部の報告もありました。外国のトラベラーの数は把握に努めることが確認されました。

### 5. 「東日本大震災」関連報告

本部 PS の T さんより報告がありました。サーバス会員は全員元気で家も存続しているが手芸用品や日常の追加支援もまだまだ必要です。少なくとももう一年程度の支援活動をお願いしたいと話され「本部、各支部にて引き続き震災関連支援を継続することが確認されました。

### 6. 「2012年度本部予算案」

承認されました。



— 会議風景 —



— ピースセクレタリーの  
Tさんより震災支援の報告 —

## 7. 「2012年度本部特別会計予算案」

承認されました。

## 8. 「本部ホームページ改正案」

N-IT 担当者や各 IT 担当者と密接な連絡をとり良いページが出来よう努力することが結論づけられました。

## 9. 「日本サーバスの会則の見直し案」

「ユース部」を新機関として設けたい説明があり、決議の結果会則改正が承認されました。

## 10. 「サーバス活動の活性化に向けてのアクションプラン」

今回の台湾や韓国のゲストの紹介やビジターの受け入れなど活性化に向けての議論も広くなされました。

## 11. 「来年度国内会議の開催地および期日」

来年度は2013年3月16日（土）、17日（日）関東で行うことが決まりました。

### 役員の一部交代

本部副会長は北海道支部長の S. Y. さんが兼務することになりました。

関東の支部長は S. T. さんから H. T. さんへ交代されました。

## 2日目の記念懇親会

威勢のいい3人の会員による和太鼓でオープニングにふさ

わしい活気あ  
るものになり

ました。台湾や韓国の人も交えて年一回の交流に話も弾み大変にぎやかなものになりました。

また、各支部からパワーポイントを使った支部報告もあり、英語での報告や具体的な映像や写真で活動の様子がよくわかりました。近畿支部長さん等からくじ引きのプレゼントもあり場も盛り上がりました。

—N顧問のオープニングあいさつ—



— 演歌を歌う台湾からの参加者 —



—N顧問のオープニングあいさつ—



—和太鼓グループ「式伍路衆」—



—会議の参加者—